

〈体育〉

表現力を高める体育の授業づくり

——ファシリテーションを取り入れた水泳運動指導を通して（第4学年）——

石垣市立登野城小学校教諭 伊藤 真 哲

I テーマ設定の理由

近年では、社会構造が急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。学校教育には、そのような変化にも積極的に向き合い、様々な情報を見極め、知識を獲得することや、仲間と協働して課題を解決したりすることができるような教育が求められている。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編』（以下『解説体育編』）では、体育学習の成果として「運動やスポーツが好きな児童の割合が高まったことや体力の低下傾向に歯止めがかかったこと」が挙げられている。その一方、「習得した知識及び技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えること等に課題があること」が示されている。

本校の児童の実態を見ても、校内に運動を楽しく行うための場の常設や、一校一運動の取り組み、体育便りの発行等の実践により、運動が好きな児童の増加はみられるが、体育の学習において、児童が、技ができるようになるために思考したり、練習の仕方を工夫したり、それらの考えを伝えたりする力に課題が見られる。そこで、前時の課題の振り返りを意識させることで、中学年では本時のめあてについて自己の課題にあったものを設定することができるようになってきている。しかし、課題解決のための方法を友達と話し合ったり振り返りに記述したりすることまで至っていない。

また、自分自身の指導を振り返ると、新しい技への習得につながる感覚を磨く場（コーディネーション運動の場）を設定したり、自己の技の出来栄や課題を確認する場（ICTの活用）を設定したりして技能の習得や思考力、判断力を育む指導の工夫を行ってきた。しかし、自己の課題について思考し判断したことを言葉や文章、動作等で表したり友達や教師に伝えたりする力である表現力を育むことに課題があった。特に水泳運動においては、県の泳力調査で泳ぐことができる児童の目標値を下回っているため、泳法や息継ぎの仕方等に重点を置き、話し合い活動等が十分に行われていない現状がある。

『解説体育編』の各学年の目標では、表現力の育成について「考えたことを他者に伝える力を養う」と示されている。「考えたこと」とは、課題解決のために集めた情報や得た知識を基に自分の考えをまとめ解決へとつないでいく思考力や、その過程で試行したことを選択したり、組み合わせたりする判断力のことであると考え。表現力を高めるには、必然的に思考力、判断力の高まりが求められる。

そこで本研究では、思考力、判断力を高める指導の工夫を行いながら、「表現力」の育成に重点を置いて授業づくりを進めていきたい。「表現力」を高めるために、ファシリテーションを取り入れて指導していく。教師がファシリテーターとして対話活動を活性化させ、児童の考えや意見を引き出し、可視化していく。そして、児童の思考や考えをつなぐ対話を引き出し、課題把握や解決のための方法を思考し判断する場を作るとともに、伝え合う中で表現力を高めることができると考える。ファシリテーターとしての教師の声かけを体育科の学習に取り入れ、児童が得た知識や思考、判断した考えを表現する際に、児童の思考をつないだり、新たな考えを引き出したりする指導の工夫を行えば、児童の表現力を高めることができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

〈研究仮説〉

水泳運動で、自己の記録への挑戦の仕方や課題解決の方法について考える場において、ファシリテーションを取り入れて児童の発表やつぶやきをつないでいくことで、児童の思考が整理され表現力の高まりがみられるであろう。

Ⅱ 研究内容

1 体育科における表現力とは

(1) 体育科における表現力とは

体育科の「思考力、判断力、表現力等」における目標は、「自己の課題発見」「課題解決に向けて思考及び判断」「他者に伝える」の3点である。『解説体育編』では、「情報を捉えて多角的に精査したり、課題を見出し他者と協働しながら解決したり、自分の考えを形成し伝え合ったり、思いや考えを基に創造したりするために必要な資質・能力」と示されている。

思考力、判断力とは、自己の課題に応じて、運動の行い方や練習の仕方などを選んだり、応用したりする力であり、「運動の行い方や練習の仕方を選ぶ」ためには、運動の理解や基礎的な動きができるという「知識及び技能」の習得が必要である。

表現力とは、自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章および動作などで表したり仲間や教師などに理由を添えて伝えたりすることである。したがって、児童が表現するためには、思考し判断したことがなければならず、表現力を育成するためには必然的に思考力、判断力の育成が求められる。

(2) 表現力を見取る手立てとその高まりの捉えについて

本研究では、表現力とその高まりを見取るために3つの方法を取り入れる（表1）。

1つ目に、児童自身が、体育の授業において考えたことを友達に伝える活動やワークシートに書く活動についてどのように捉えているかをアンケート調査にて見取る（表1ア）。アンケートは同一のものを実施し、各資質・能力と対応した質問項目ごとに、集計、比較し、全体数における児童の肯定的な回答数の

表1 資質・能力を見取る方法と計画

評価方法		評価物	実施時期	評価者
ア	検証前後アンケート	アンケート (Forms 及び紙面)	5月初旬	児童
			7月中旬	
イ	振り返りアンケート	アンケート (Forms)	毎授業後	教師
ウ	観点別学習状況 の評価	観察 児童の発言・動作 ホワイトボード I C T	毎授業中	
		ワーク シート	毎授業後	

の増加を高まりと捉える。また、児童個々での変容も比較し、肯定的な回答内でも増加が見られる場合は高まりと捉える。

2つ目の毎授業に実施する振り返りアンケート（表1イ）は、八重山地区小学校体育研究会で取り組んできた指導と評価の一体化を図った実践の一つである。観点別の質問項目に対し、児童の回答を点数化しグラフ化することで、毎授業で児童の学習状況の捉えや変容を分析し、授業改善に生かしている。時間ごとに重点化する評価項目が異なったり、児童の試行錯誤があったりするため、毎時間のグラフの比較では増加や減少・停滞を繰り返すと考えられる。そこで、1時間ごとや検証授業直後の高まりを見取るのではなく、単元を通しての変容及び高まった際の分析及び考察をしていく。

3つ目に、観点別学習状況の評価を活用する。「思考・判断・表現」のうち「表現」にあたる評価規準では、「考えたことを友達に伝える」ことができているかを見取る必要があり、観察及びワークシートによる記述（表1ウ）をもとに評価する。対話活動では、全体交流の場であれば教師が見取ることもできるがペアやグループによる活動場面では、児童の言葉や動作を見落とす場合がある。発言や動作のみでは手元に記載が残らないため評価が曖昧なものになる可能性もあるので、教師または児童による書き出しを残す必要がある。その際はワークシートの他に、付箋紙やホワイトボード、電子黒板等のI C Tを活用する。また、振り返りのワークシートにも記述させることで、文章で伝える力を見取っていく。教師による観点別学習状況の評価は、「十分満足できる（A）」、「おおむね満足できる（B）」、「努力を要する（C）」の3段階に区別し評価される。本研究では、「十分満足できる」児童の増加が資質・能力が高まっていると捉えることとする。評価基準では、「十分満足できる」と「おおむね満足できる」状況の違いを

明確にし、目指す児童の姿を具体的に示す。高田ら（2022）は、体育科の内容のまとまりごとの評価基準の作成にあたり「十分満足できる」設定例及び「おおむね満足できる」設定例を表している。各内容によって、差異はあるものの、「十分満足できる」設定例には、「具体的に」「適切に」「積極的に」などの文言が加えられていることを参考にし、評価基準を作成した（表2）。

表2 本研究における「表現」の評価基準と具体例（水泳学習）
友達や教師に伝える

	A	B	Cに対する手立て
評価基準	友達のよい動きや動きのポイントを言葉や動作で具体的に伝えたり、いろいろな泳ぎ方やもぐり方、浮き方を分かりやすい表現で紹介したり、よい動きを積極的にまねしたりしている。	友達のよい動きや動きのポイントを言葉や動作で伝えたり、いろいろな泳ぎ方やもぐり方、浮き方を紹介したり、よい動きをまねしたりしている。	バディや友達の動きを観察させ、気付いたことやまねしたいところを引き出したり、距離や時間、回数などの具体的な自己の目標を決めて伝えさえることができるよう支援する。
具体例	・〇〇さんは、け伸びの時に、頭を入れて水中を見ているから、まっすぐできれいです。 ・息継ぎの後は、ひざとつま先も伸ばして、体がまっすぐになるようにする。	・〇〇さんはけ伸びがまっすぐできれいです。 ・息継ぎの後は、け伸びのしせいを意識する。	

2 教育におけるファシリテーション能力

(1) ファシリテーションとは

ファシリテーションは、学校教育のみならず、学術、ビジネス、政治など様々な分野で応用されており、その定義も多様である。語源はラテン語の「facile（ファシル）」からきており、「促進する、円滑にする、容易にする」と訳される。本研究では、ファシリテーションについて、武田正則（2011）の「人々の活動が容易にできるよう支援し、うまく事が運ぶように舵取りすること。集団による問題解決、アイデア創造、合意形成、教育・学習、変革、自己表現、成長など、あらゆる知識創造活動を支援し、促進していく働き」という捉えのもと進めていく。

(2) 授業におけるファシリテーション能力と教師のファシリテーターとしての役割

石川一喜（2015）は、ファシリテーターのいる学びの場として、学習プログラムの基本パターンと5つのステージがあると述べている（図2）。

ファシリテーションにおける学習活動は「アクティビティ」と呼ばれ、ロールプレイやディスカッションなど様々な形態がある。本研究では、表3の

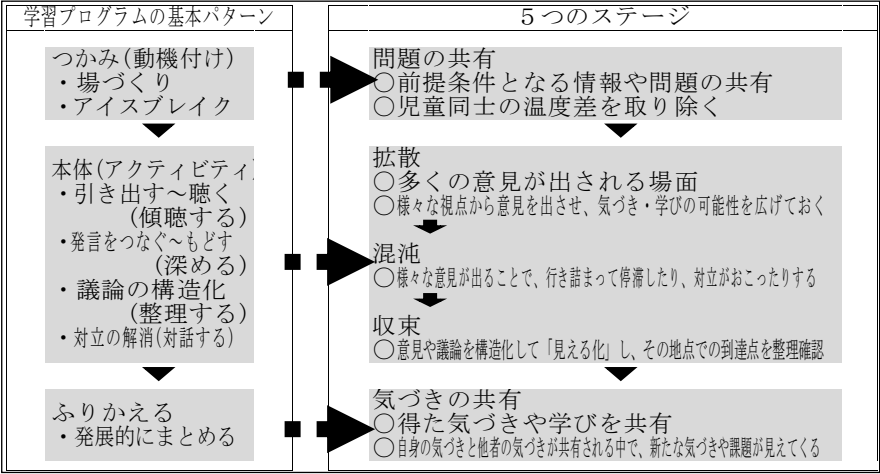


図2 ファシリテーターが介在する学びの場

3つを活用していく。教師がファシリテーターとして、これらのアクティビティを取り入れながら、児童の意見や考え、つぶやきを児童同士の対話を通して引き出し、行動を促していくためには、どのような声かけをするかが重要である。

必ず「正解」を引き出すのではなく、児童の答えがどのような意味を持っているか教師が汲み取り、声かけをすることで他の児童の考えや意見とつないだり新たな考えを引き出した

表3 ファシリテーションにおけるアクティビティ

	アクティビティ	手法	期待される効果
①	フォトランゲージ	写真や絵などを用い、そこに潜んでいる情報を多角的に読み取る。	・技能のポイントに気付く。 ・課題を捉えたり、手本との違いに気付いたりする。
②	イメージマップ	一つのテーマから、そこに関連するキーワードをいくつも挙げてつなげていく。それぞれのつながりから関係性や全体像を把握していく。	・課題の共有。 ・多様な視点から課題解決の方法に気付く。
③	シミュレーション	どんな方法であれば解決できるのか、想像し想定してみる。解決した状況をシミュレーションすることで、今からどうすれば解決に向けて行動できるのか、イメージされやすくなる。	・課題解決に向けて意欲の向上。

りしていくファシリテーターとしての視点が大切になってくる。土屋武志（2011）が、社会科学学習における「対話を引き出す教師の声かけ」を例示している。吉岡正憲（2022）は体育における発問のカテゴリーを設定しており、これらを参考に小学校体育における対話を引き出す教師の声かけを表4に示した。本研究では、アクティビティを活用する際にこの視点を意識することで、発問が焦点化され、児童の対話が活性化されると考える。

表4 対話を引き出す教師の声かけ

カテゴリー／内容	具体例	カテゴリー／内容	具体例
a 課題発見・解決的 自分やチームの課題などの発見、課題の解決方法などを問う発問	「何ができるようになりますか。」 「どんな課題があるでしょうか。」 「課題を解決するにはどうしたらよいでしょうか。」 「どうすれば、できるようになりますか。」 「どんな練習が必要ですか。」	d 創意的・問題解決的 子どもが考えた運動の工夫や問題の解決方法を問う発問	「どんな工夫が考えられますか。」 「次はどのようにしたらよいでしょうか。」 「友達に教えるとしたらどのように教えますか。」 「どんな結果になると思いますか。」
b 回顧的 既知・既習事項を想起させる発問、授業中について振り返る発問	「今、わかっていることは何ですか。」 「どんなコツやポイントがありましたか。」 「どんな工夫ができましたか。」	e 価値的 運動やスポーツの価値や態度的な価値、学習に対する主体的な態度決定について問う発問	「運動の楽しさって何ですか。」 「すばやく準備するためにはどうしたらよいでしょう。」 「何を学びましたか。」 「この運動ができるようになったら、どうなりますか。」
c 分析的 技術的な課題に関する分析を問う発問	「どんなコツやポイントがあるでしょうか。」 「どちらの動きがよいと思いますか。」 「上手な人のよいところはどこでしょうか。」	f 補助的	「それは、どんな動きですか。」 「なぜですか。」 「例えばどういうことですか。」 「他にどのような見方（考え方）がありますか。」 「今の意見に付け加えることはありませんか。」 「キーワードを使ってまとめましょう。」 「今までの話をまとめるとどうなりますか。」

また、対話において引き出された言葉を、聴覚だけでなく視覚でも捉えられるようにするためにファシリテーション・グラフィック（以下F G）を活用する。F Gは、児童の言葉や考えを可能な限りそのまま示したり、意見同士の関係性を図式化したりして、学習者目線で示していく。板書とは異なり、事前にどこに何を書くか計画されたものではなく、ゴール（まとめ）に向かっていくものではない。F Gは児童の気づきや深まりを促すものである（図3）。各アクティビティを行う際にF Gを活用するが、イメージマップでは、F Gの視覚化された児童の意見や考えをつないでいくため、併せて活用することになる。

本研究では、ファシリテーションを体育科の学習に取り入れることで、児童の思考をつないだり、新たな考えを引き出したりすることができ、思考し判断したことを、言葉や文章および動作などで表したり伝えたりする表現力を育むことができると考える（図4～図6）。

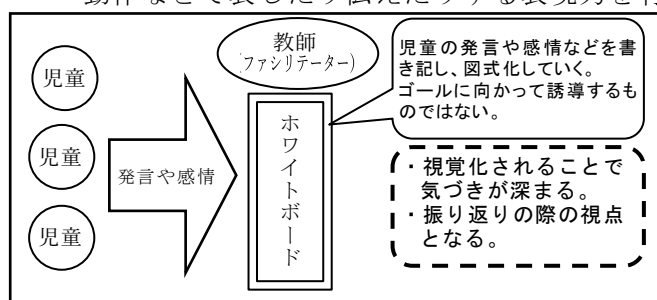


図3 指導のイメージ（F G）

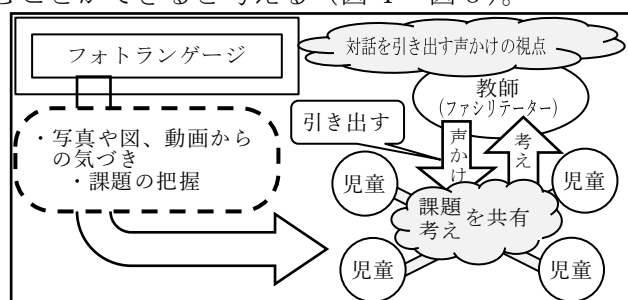


図4 指導のイメージ（フォトランゲージ）

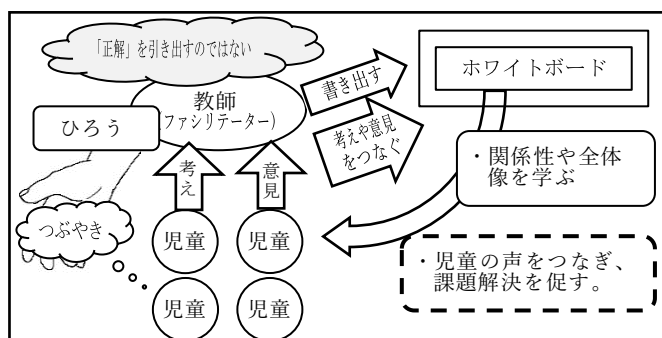


図5 指導のイメージ（イメージマップ）

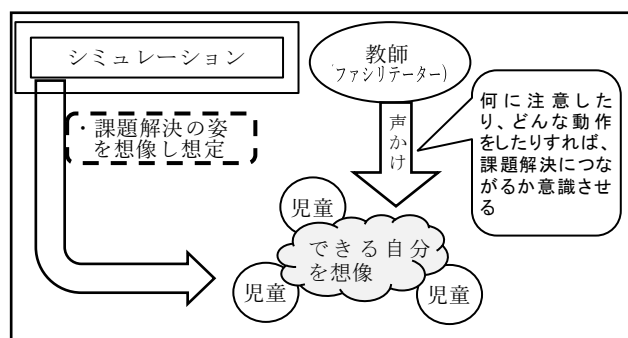


図6 指導のイメージ（シミュレーション）

3 水泳学習について

『解説体育編』では、「物理的な特性（浮力、水圧、抗力、揚力など）を生かし、浮く、呼吸する、進むなどの課題を達成し、水に親しむ楽しさや喜びを味わうことのできる運動」と示されている。

陸上とは違い、水中を動き回ったり、もぐったりする心地よさ、泳ぐ距離や浮いている時間など記録の更新や達成による楽しさや喜びに触れたり味わったりすることができる運動である。

「泳げる」「泳げない」がはっきりした運動であることから、「できなかったこと」が「できる」ようになる楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

Ⅲ 指導の実際

1 単元名「水泳運動」 スイス泳ごう！

2 単元の目標

いろいろな浮き方やもぐり方、簡単なクロールや平泳ぎをする。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
浮いて進む運動の行い方を知るとともに、け伸びや初歩的な動きをすることができるようにする。 もぐる・浮く運動の行い方を知るとともに、呼吸を調整しながらいろいろなもぐり方をしたり、背浮きの姿勢で浮いたり、簡単な浮き沈みをしたりすることができるようにする。	自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	浮いて進む運動やもぐる・浮く運動に進んで取り組み、きまりを守り、誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①浮いて進む運動やもぐる・浮く運動の行い方について、言ったりワークシートに書いたりしている。 ②け伸びや初歩的な泳ぎをすることができる。 ③呼吸を調整しながら、いろいろなもぐり方や浮き方ができる。	①進んだ距離やできた回数を確認かめて自己の課題を見付けたり、課題に適した練習を選んだりしている。 ②課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	①運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ②友達の考えを認めようとしている。 ③水泳運動の心得を守って安全に気をつけている。

4 単元の指導計画と評価計画

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	オリエンテーション ・安全の約束の確認 ・学習の進め方確認 ・準備運動 ・パディ確認 ・入水確認	準備運動→シャワー→パディ確認							
		もぐる・浮く運動	自己に合ったためあての設定・パディ確認						泳力調査 (県依頼)
		・連続ボビング ・だるま浮き ・手つなぎ浮き ・伏し浮きから背浮き ・股くぐり ・床で腹ばい	課題解決に向けた対話活動（FGの活用） （7～10分）						浮いて進む運動 ・け伸び ・ばた足 ・かえる足 ・簡単なクロール ・簡単な平泳ぎ
45	整理運動→シャワー→着替え→振り返り								
知識・技能		① 観察		③ 観察		② 観察			
思考・判断・表現			① 観察・ワークシート					② 観察・ワークシート	
態度	① 観察				③ 観察		② 観察		
Main Activity	主に活用する アクティビティ	フォトランゲージ	フォトランゲージ イメージマップ	フォトランゲージ シミュレーション	フォトランゲージ シミュレーション	フォトランゲージ イメージマップ	フォトランゲージ シミュレーション	フォトランゲージ イメージマップ	
	対話を引き出す 教師の声かけ	a	a f	c d	a f	c f	c d	a c f	d f

5 本時のねらい

(1) 単元のねらい

ねらい1・・・色々な浮き方やもぐり方に取り組んだり、友達と一緒に浮いたりもぐったりする。

ねらい2・・・簡単なクロールや平泳ぎ等できそうな泳ぎ方に、練習方法や場を選んで挑戦する。

(2) 本時の展開

	学習活動	評価方法(見取り方) (■) 及び教師の支援 (☆)	ファシリテーション 「声かけ」 (表4参照)
導 入	1 めあて 長く進むためのポイントを考え、伝え合おう。	☆これまで学習で取り組んできた浮いて進む方法(泳ぎ方)を確認する。	「どんなポイントがありましたか。」(b)
	2 ウォーミングアップ ・準備運動 ・シャワー及びバディ確認 ・入水(コーディネーション運動)	☆教師を手本に準備運動 ☆状況に応じてバディを3人組にする。	
展 開	ねらい1・・・色々な浮き方やもぐり方に取り組んだり、友達と一緒に浮いたりもぐったりする。		
	3 いろいろな浮き方やもぐり方をやる。 ・自己の課題にあった浮き方・もぐり方に取り組む。	☆それぞれの浮き方、もぐり方ごとに場を分かれさせ、バディやグループを組み直させる。	
	ねらい2・・・簡単なクロールや平泳ぎ等できそうな泳ぎ方に、練習方法や場を選んで挑戦する。		
	4 浮いて進む運動に取り組む。 ・長く泳ぐコース、ビート板を使って泳ぐコース、壁を使ったり、短い距離を泳いだりする場に分かれてバディを組み直し練習する。  	☆コースロープを準備し、場を設定し直す。その際に、それぞれの練習の場ごとに、児童のバディを組み直させる。 ☆それぞれの場での児童の様子を撮影し、児童が振り返ることができるようにする。	
開	5 対話活動 ・それぞれの泳ぎ方のポイントや気づきを伝え合う。 ・どの泳ぎ方の時に意識するポイントであるかや自分の課題解決について伝え合う。  	☆児童の実際の映像や手本動画を見せる。  ☆児童の発言をホワイトボードに記す。	フォトランゲージ 「どのようなところが上手でしょうか。」(c)
	6 課題解決に向けて、浮いて進む運動に取り組む。 ・話し合ったことを意識して浮いて進む運動に取り組む。  	☆児童の発言をつないでいくことで、児童がそれぞれの考えの関係性や全体像をつかめるようにする。 ■自分の課題を見付けたり、課題の解決のための方法を考えたりしている。(発言) ☆F Gを示しながら、どんなことを意識して練習して成果があったことや次時に生かしたいことなどを確認する。 ☆振り返りの視点としてホワイトボードを撮影し、児童に配布し振り返りに生かせるようにする。	F G イメージマップ 「今の意見はどの泳ぎ方についてですか。」(f) 「どうすればできるようになりますか。」(a)
終 末	7 まとめ ・学習のまとめ ・整理運動 ・シャワー ※振り返りは着替え後に教室で実施。		「どんな取り組みができましたか」(a) 「今日の気づきをまとめるとどうなりますか。」(f)

IV 仮説の検証

本研究では、「表現力を高める体育の授業づくり」を目指し授業づくりに取り組んだ。研究仮説に基づき、「ファシリテーション」が有効な手段であったかを検証する。ファシリテーションの効果、検証前後アンケート、振り返り、点数化による自己評価の変容をもとに分析、考察していく。

1 ファシリテーションの効果

(1) アクティビティについて

2時間目や4時間目には、浮き方・もぐり方、泳ぎ方の手本動画を電子黒板で掲示しフォトランゲージを活用した。第3時や第5時以降は、児童の実際の写真や映像を掲示した(図7)。手本のフォトランゲージから得た知識がもととなり、自己(または仲間)の動きのよさや課題、その解決策について意見を引き出すことができた。

児童の取り組む「浮く・もぐる技」や「浮いて進む方法」についてカテゴリー分けした上で、それぞれを行うポイントや気づいたことを児童の発表やつぶやきからFGに表した。その際に、「浮く・もぐる運動」の意識することが「浮いて進む運動」につながるポイントであることを児童が気づき、FG上でつなぎ合わせた。関係性について知識を深めたり、新たな関係性を見つけようと思ったりしていたことがうかがえた。(図8)

また、授業が発展するにつれて、FGを児童が書き記す姿も見られるようになった(図9)。このことから、イメージマップが児童の思考力、判断力、表現力等の育成に有効であった。

一方で、FGは、児童の言葉を可能な限りそのまま表していくので、「見やすさ」を意識しないとイメージマップでつなぎにくくなったり、わかりにくいつながりとなったりしてしまった。FGを見やすく書くスキルを高める必要がある。

シミュレーションの活用では、児童の課題解決の具体的な思考を促したり、意識するポイントを判断したりそれを伝え合う上で有効であった。児童の気づきから、全体で「下を見る」というポイントを共有した際に、「どうして下を見るのか。」と問いかけた。児童は「頭が出ないため」「浮きやすいから」等、多様な意見を引き出すことができた。ある児童は「体がピンとなる」とつぶやいたので、「ピンとはどういうことだと思いますか」と全体に投げかけた。そこで児童は「まっすぐ」や「ふし浮き」等よい姿勢につながることに気づくことができた。

(2) 対話を引き出す教師の声かけについて

表4における視点を持つことで、児童から多様な意見を引き出すことができた。前時を振り返る際にはbを、フォトランゲージを活用する際にはcを意識することで、教師の一方的な指導にならず、児童の考えや気づきを引き出すことができた。

また、イメージマップを活用する際にはfを、シミュレーションではaやdを意識することで児童が友達の意見をつなげて考えたり、自身の課題解決に向けて思考したりする



図7 「頭が出ている」ことを気づかせたフォトランゲージ

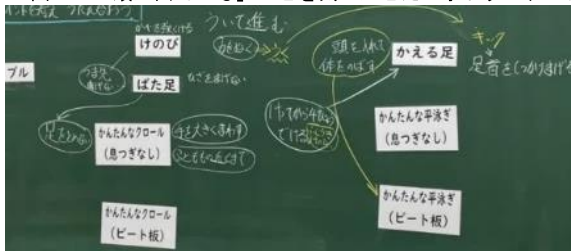


図8 イメージマップ

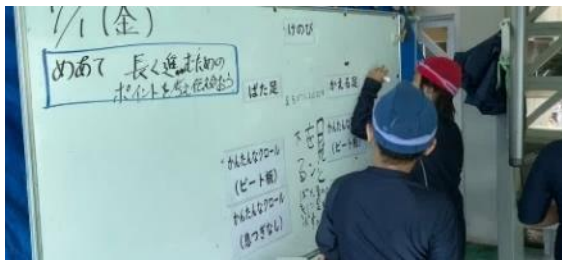


図9 FGに書き記す児童

表5 教師の声かけと児童の反応

T: 教師	C: 児童	カテゴリー
手本動画【ふしうき】を掲示		
T: この動画を見てどう思いますか。	C: 上手。	b
T: どのところが上手ですか。	C: 姿勢がまっすぐ。	f
C: 体が全部浮いている。	T: まっすぐっていうと「きをつけ」の姿勢みたいにですか。	f
C: ちがう。もっとピンと。	C: 手もまっすぐ。	
T: 体が全部浮くっていうとお腹もですか。	C: いや…足と肩とおしりと頭	f
C: 頭はここ(後頭部)だけだよ。	T: 頭の後ろが出るっていうことは、どこを見ているのでしょうか。	d
C: 下を見たらいい。		

姿が見られた（表5）。対話を引き出す教師の声かけを意識することは、児童の思考力、判断力、表現力等の育成に有効であった。

2 検証前後のアンケートの変容について

「思考力、判断力、表現力等」に関連する質問項目の検証前後の比較を行った（図10）。

各項目において、最も肯定的な回答の割合の増加も見られた。このことから、児童自身が「思考力、判断力、表現力等」が育まれていると実感できていると考えられ、ファシリテーションを取り入れることは有効であった。

一方で、「体育の学習で、チームや友達と話し合う時に、自分の意見を伝えていきますか。」の項目においては、最も肯定的な回答は増加が見られる（40%→41%）ものの、肯定的な回答は減少している（87%→82%）。検証前の時点で、児童の肯定的な回答は9割近い。しかし、前学年時までのワークシート等を見ると具体的な「自分の意見」は少ない。このことから、検証前と検証後における「自分の意見」について児童自身の捉えが深まったのではないかと考えられる。

「自分の意見」の捉えが深まったことで「伝えることができている」と回答する児童が増えたものと考ええる。また、ファシリテーションを取り入れた全体での対話活動に時間を取った分、ペアやグループでの対話活動の時間が短縮されたことから、自身の意見を伝えることができていると考える児童が増えたのではないかと考える。全体での対話活動においても、多様な意見を引き出せるようにファシリテーション力の向上を図るとともに、ペア・グループ・全体でのそれぞれの対話活動における時間配分を、単元を通して工夫する必要がある。

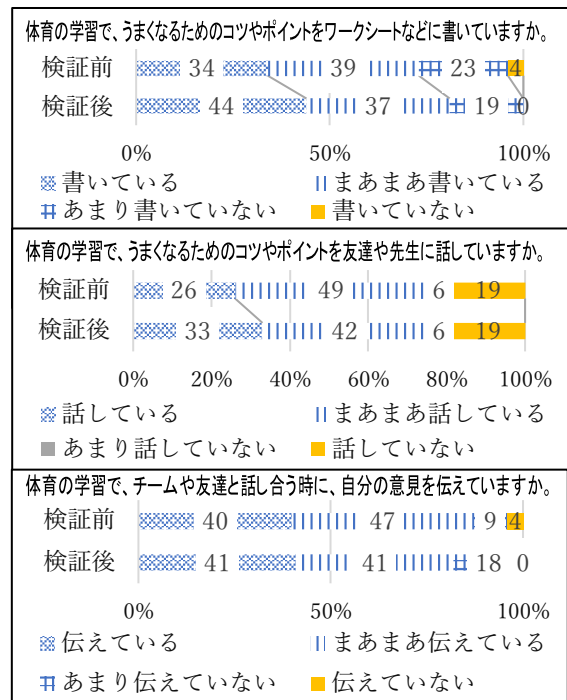


図10 アンケートの変容 N=33

3 点数化による自己評価の変容

毎授業後に実施した、児童の点数化による自己評価の変容を考察した（図11）。

先行研究同様にグラフは増加や減少を繰り返した。第2時に減少した要因として「浮き方・もぐり方」の知識や技能の習得を試みる時間であったことが考えられる。特に減少した「自分のめあてを達成するために練習の場や方法を選んでいる」は、技ができるようになるためのポイントがつかめていないので選びようがなかったことが考えられる。続く第3時では、フォトランゲージの活用により技のポイントやコツをつかみ、イメージマップで解決方法について共有したことにより大きく増加したものと考えられる。

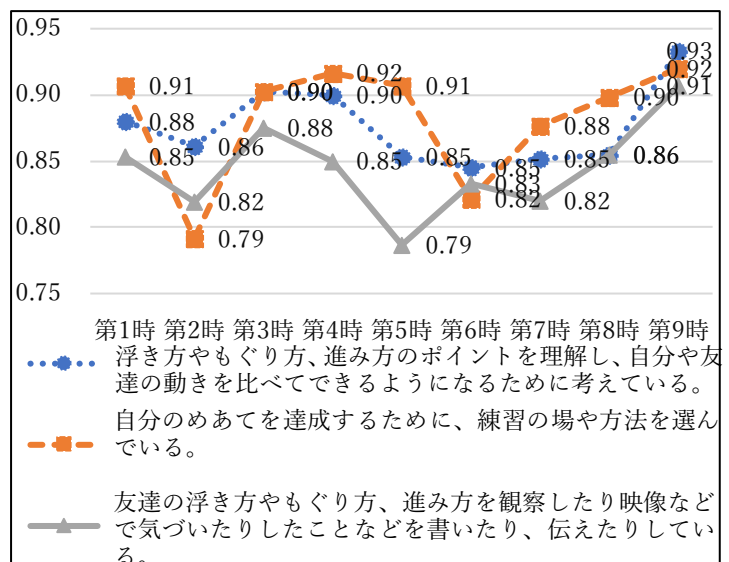


図11 児童の振り返りアンケートによる「思考・判断・表現」の推移 N=33

また、第5時で大きく減少した要因としては、「浮く・もぐる運動」から「浮いて進む運動」へ活動の中心が変わったことが考えられる。第5時では、シミュレーションを通して簡単なクロールや簡単な平泳ぎについて、単元における児童自身の目標をつかませることができた。第7時では第2時同様に知識・技能の習得を試行錯誤したために若干減少していた。第8時及び第9時では、ファシリテ

ーションを取り入れた対話活動を通して、児童が考えたことを伝え合ったり、得た知識をアドバイスし合ったりしたことから、増加したものと考察する。

以上のことから、水泳運動の学習において、本研究における手立てが、子どもたちの表現力を育むために一定の効果があったと捉えることができる。

4 児童の変容について

(1) 振り返りの記述の変容

児童の毎時間後の振り返りの記述を前学年の3学期時と比較した。前学年時では、多くの児童が「楽しかった」「〇〇ができた」等、単調な感想であった。同一児童の本検証の振り返りを見ると「息を吐いてからもぐるとかんたん」「下を見ることを忘れてしまうので意識したい」等気づいたポイントや自己の課題を具体的に書くことができるようになっていた(図12)。検証前後のアンケートにおいて「体育の学習で、うまくなるためのコツやポイントをワークシートなどに書いていますか。」という項目の増加からも、児童自身が具体的に振り返りを書けるようになったことを自覚していることがわかる(図10)。対話活動から引き出された意見や言葉がより具体的であったことや、FGによって視覚化されたことなど、ファシリテーションを取り入れたことが効果的であったと考えられる。

今日のめあて		①	②	③	ふりかえり
2/15	タケウツビーのルールをかくにしよう。	×	×	×	今日水泳学習での進め方がわかったので明日は、だるまうきやだれもんい なしたり、いろいろなもぐり方をしてみたいと思いました。
					今日、下までおなかをつけてもぐることや、できなからたけれど、 息をはいてもぐっていたらかんたん！おなかをつけれました。
2/16	ハスができるようになる。	×	×	×	今日、ローリングのポイントをさがしたけれど、ポイント は見つからなかったでござんて見つかりましたよーと思 います。
					今日、ハスをしたから10mくらいいけましたよーと思 います。
2/17	ポイントをききし うにする	×	×	×	今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
					今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
2/18	ハスができるようになる	○	○	○	今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
					今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
3/1	ハスができるようになる	○	○	○	今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
					今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
3/2	ハスができるようになる	○	○	○	今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
					今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
3/3	ハスができるようになる	○	○	○	今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。
					今日、ローリングをやってみて、ききしうがたはいいと思 います。

図12 同一児童の振り返りの変容(左:前学年時 右:検証時)

(2) 観点別評価

前学年時の3学期の1単元の振り返りと検証単元とでの、「思考・判断・表現」を評価したものを比較した。前年度の「十分満足できる(A)」の児童が「10%」であったのに対し、本検証における「十分満足できる(A)」の児童は63%であった(図13)。本研究を通して、児童が具体的な視点を持つようになり、意識したことを詳しく書いて伝える力を育むことができた。

水泳運動をやってみて
水泳をやってみて、平泳ぎ(かんたん)とクロールが、できるようになってうれしかったです。クロールの息つきは、1,2,3,4の4のタイミングで、思ひきり上に向けてこきゅうするといいわかったの、びびりの勉強までにそのコツをおぼえていたいです。
水泳運動をやってみて
水泳運動をやってみて、いろいろなことかかわりました。下を見たり、手のはたりするといいうこと、おぼえたの、2'、3'、4'、5'、6'、7'、8'、9'、10'、11'、12'、13'、14'、15'、16'、17'、18'、19'、20'、21'、22'、23'、24'、25'、26'、27'、28'、29'、30'、31'、32'、33'、34'、35'、36'、37'、38'、39'、40'、41'、42'、43'、44'、45'、46'、47'、48'、49'、50'、51'、52'、53'、54'、55'、56'、57'、58'、59'、60'、61'、62'、63'、64'、65'、66'、67'、68'、69'、70'、71'、72'、73'、74'、75'、76'、77'、78'、79'、80'、81'、82'、83'、84'、85'、86'、87'、88'、89'、90'、91'、92'、93'、94'、95'、96'、97'、98'、99'、100'、101'、102'、103'、104'、105'、106'、107'、108'、109'、110'、111'、112'、113'、114'、115'、116'、117'、118'、119'、120'、121'、122'、123'、124'、125'、126'、127'、128'、129'、130'、131'、132'、133'、134'、135'、136'、137'、138'、139'、140'、141'、142'、143'、144'、145'、146'、147'、148'、149'、150'、151'、152'、153'、154'、155'、156'、157'、158'、159'、160'、161'、162'、163'、164'、165'、166'、167'、168'、169'、170'、171'、172'、173'、174'、175'、176'、177'、178'、179'、180'、181'、182'、183'、184'、185'、186'、187'、188'、189'、190'、191'、192'、193'、194'、195'、196'、197'、198'、199'、200'、201'、202'、203'、204'、205'、206'、207'、208'、209'、210'、211'、212'、213'、214'、215'、216'、217'、218'、219'、220'、221'、222'、223'、224'、225'、226'、227'、228'、229'、230'、231'、232'、233'、234'、235'、236'、237'、238'、239'、240'、241'、242'、243'、244'、245'、246'、247'、248'、249'、250'、251'、252'、253'、254'、255'、256'、257'、258'、259'、260'、261'、262'、263'、264'、265'、266'、267'、268'、269'、270'、271'、272'、273'、274'、275'、276'、277'、278'、279'、280'、281'、282'、283'、284'、285'、286'、287'、288'、289'、290'、291'、292'、293'、294'、295'、296'、297'、298'、299'、300'、301'、302'、303'、304'、305'、306'、307'、308'、309'、310'、311'、312'、313'、314'、315'、316'、317'、318'、319'、320'、321'、322'、323'、324'、325'、326'、327'、328'、329'、330'、331'、332'、333'、334'、335'、336'、337'、338'、339'、340'、341'、342'、343'、344'、345'、346'、347'、348'、349'、350'、351'、352'、353'、354'、355'、356'、357'、358'、359'、360'、361'、362'、363'、364'、365'、366'、367'、368'、369'、370'、371'、372'、373'、374'、375'、376'、377'、378'、379'、380'、381'、382'、383'、384'、385'、386'、387'、388'、389'、390'、391'、392'、393'、394'、395'、396'、397'、398'、399'、400'、401'、402'、403'、404'、405'、406'、407'、408'、409'、410'、411'、412'、413'、414'、415'、416'、417'、418'、419'、420'、421'、422'、423'、424'、425'、426'、427'、428'、429'、430'、431'、432'、433'、434'、435'、436'、437'、438'、439'、440'、441'、442'、443'、444'、445'、446'、447'、448'、449'、450'、451'、452'、453'、454'、455'、456'、457'、458'、459'、460'、461'、462'、463'、464'、465'、466'、467'、468'、469'、470'、471'、472'、473'、474'、475'、476'、477'、478'、479'、480'、481'、482'、483'、484'、485'、486'、487'、488'、489'、490'、491'、492'、493'、494'、495'、496'、497'、498'、499'、500'、501'、502'、503'、504'、505'、506'、507'、508'、509'、510'、511'、512'、513'、514'、515'、516'、517'、518'、519'、520'、521'、522'、523'、524'、525'、526'、527'、528'、529'、530'、531'、532'、533'、534'、535'、536'、537'、538'、539'、540'、541'、542'、543'、544'、545'、546'、547'、548'、549'、550'、551'、552'、553'、554'、555'、556'、557'、558'、559'、560'、561'、562'、563'、564'、565'、566'、567'、568'、569'、570'、571'、572'、573'、574'、575'、576'、577'、578'、579'、580'、581'、582'、583'、584'、585'、586'、587'、588'、589'、590'、591'、592'、593'、594'、595'、596'、597'、598'、599'、600'、601'、602'、603'、604'、605'、606'、607'、608'、609'、610'、611'、612'、613'、614'、615'、616'、617'、618'、619'、620'、621'、622'、623'、624'、625'、626'、627'、628'、629'、630'、631'、632'、633'、634'、635'、636'、637'、638'、639'、640'、641'、642'、643'、644'、645'、646'、647'、648'、649'、650'、651'、652'、653'、654'、655'、656'、657'、658'、659'、660'、661'、662'、663'、664'、665'、666'、667'、668'、669'、670'、671'、672'、673'、674'、675'、676'、677'、678'、679'、680'、681'、682'、683'、684'、685'、686'、687'、688'、689'、690'、691'、692'、693'、694'、695'、696'、697'、698'、699'、700'、701'、702'、703'、704'、705'、706'、707'、708'、709'、710'、711'、712'、713'、714'、715'、716'、717'、718'、719'、720'、721'、722'、723'、724'、725'、726'、727'、728'、729'、730'、731'、732'、733'、734'、735'、736'、737'、738'、739'、740'、741'、742'、743'、744'、745'、746'、747'、748'、749'、750'、751'、752'、753'、754'、755'、756'、757'、758'、759'、760'、761'、762'、763'、764'、765'、766'、767'、768'、769'、770'、771'、772'、773'、774'、775'、776'、777'、778'、779'、780'、781'、782'、783'、784'、785'、786'、787'、788'、789'、790'、791'、792'、793'、794'、795'、796'、797'、798'、799'、800'、801'、802'、803'、804'、805'、806'、807'、808'、809'、810'、811'、812'、813'、814'、815'、816'、817'、818'、819'、820'、821'、822'、823'、824'、825'、826'、827'、828'、829'、830'、831'、832'、833'、834'、835'、836'、837'、838'、839'、840'、841'、842'、843'、844'、845'、846'、847'、848'、849'、850'、851'、852'、853'、854'、855'、856'、857'、858'、859'、860'、861'、862'、863'、864'、865'、866'、867'、868'、869'、870'、871'、872'、873'、874'、875'、876'、877'、878'、879'、880'、881'、882'、883'、884'、885'、886'、887'、888'、889'、890'、891'、892'、893'、894'、895'、896'、897'、898'、899'、900'、901'、902'、903'、904'、905'、906'、907'、908'、909'、910'、911'、912'、913'、914'、915'、916'、917'、918'、919'、920'、921'、922'、923'、924'、925'、926'、927'、928'、929'、930'、931'、932'、933'、934'、935'、936'、937'、938'、939'、940'、941'、942'、943'、944'、945'、946'、947'、948'、949'、950'、951'、952'、953'、954'、955'、956'、957'、958'、959'、960'、961'、962'、963'、964'、965'、966'、967'、968'、969'、970'、971'、972'、973'、974'、975'、976'、977'、978'、979'、980'、981'、982'、983'、984'、985'、986'、987'、988'、989'、990'、991'、992'、993'、994'、995'、996'、997'、998'、999'、1000'、1001'、1002'、1003'、1004'、1005'、1006'、1007'、1008'、1009'、1010'、1011'、1012'、1013'、1014'、1015'、1016'、1017'、1018'、1019'、1020'、1021'、1022'、1023'、1024'、1025'、1026'、1027'、1028'、1029'、1030'、1031'、1032'、1033'、1034'、1035'、1036'、1037'、1038'、1039'、1040'、1041'、1042'、1043'、1044'、1045'、1046'、1047'、1048'、1049'、1050'、1051'、1052'、1053'、1054'、1055'、1056'、1057'、1058'、1059'、1060'、1061'、1062'、1063'、1064'、1065'、1066'、1067'、1068'、1069'、1070'、1071'、1072'、1073'、1074'、1075'、1076'、1077'、1078'、1079'、1080'、1081'、1082'、1083'、1084'、1085'、1086'、1087'、1088'、1089'、1090'、1091'、1092'、1093'、1094'、1095'、1096'、1097'、1098'、1099'、1100'、1101'、1102'、1103'、1104'、1105'、1106'、1107'、1108'、1109'、1110'、1111'、1112'、1113'、1114'、1115'、1116'、1117'、1118'、1119'、1120'、1121'、1122'、1123'、1124'、1125'、1126'、1127'、1128'、1129'、1130'、1131'、1132'、1133'、1134'、1135'、1136'、1137'、1138'、1139'、1140'、1141'、1142'、1143'、1144'、1145'、1146'、1147'、1148'、1149'、1150'、1151'、1152'、1153'、1154'、1155'、1156'、1157'、1158'、1159'、1160'、1161'、1162'、1163'、1164'、1165'、1166'、1167'、1168'、1169'、1170'、1171'、1172'、1173'、1174'、1175'、1176'、1177'、1178'、1179'、1180'、1181'、1182'、1183'、1184'、1185'、1186'、1187'、1188'、1189'、1190'、1191'、1192'、1193'、1194'、1195'、1196'、1197'、1198'、1199'、1200'、1201'、1202'、1203'、1204'、1205'、1206'、1207'、1208'、1209'、1210'、1211'、1212'、1213'、1214'、1215'、1216'、1217'、1218'、1219'、1220'、1221'、1222'、1223'、1224'、1225'、1226'、1227'、1228'、1229'、1230'、1231'、1232'、1233'、1234'、1235'、1236'、1237'、1238'、1239'、1240'、1241'、1242'、1243'、1244'、1245'、1246'、1247'、1248'、1249'、1250'、1251'、1252'、1253'、1254'、1255'、1256'、1257'、1258'、1259'、1260'、1261'、1262'、1263'、1264'、1265'、1266'、1267'、1268'、1269'、1270'、1271'、1272'、1273'、1274'、1275'、1276'、1277'、1278'、1279'、1280'、1281'、1282'、1283'、1284'、1285'、1286'、1287'、1288'、1289'、1290'、1291'、1292'、1293'、1294'、1295'、1296'、1297'、1298'、1299'、1300'、1301'、1302'、1303'、1304'、1305'、1306'、1307'、1308'、1309'、1310'、1311'、1312'、1313'、1314'、1315'、1316'、1317'、1318'、1319'、1320'、1321'、1322'、1323'、1324'、1325'、1326'、1327'、1328'、1329'、1330'、1331'、1332'、1333'、1334'、1335'、1336'、1337'、1338'、1339'、1340'、1341'、1342'、1343'、1344'、1345'、1346'、1347'、1348'、1349'、1350'、1351'、1352'、1353'、1354'、1355'、1356'、1357'、1358'、1359'、1360'、1361'、1362'、1363'、1364'、1365'、1366'、1367'、1368'、1369'、1370'、1371'、1372'、1373'、1374'、1375'、1376'、1377'、1378'、1379'、1380'、1381'、1382'、1383'、1384'、1385'、1386'、1387'、1388'、1389'、1390'、1391'、1392'、1393'、1394'、1395'、1396'、1397'、1398'、1399'、1400'、1401'、1402'、1403'、1404'、1405'、1406'、1407'、1408'、1409'、1410'、1411'、1412'、1413'、1414'、1415'、1416'、1417'、1418'、1419'、1420'、1421'、1422'、1423'、1424'、1425'、1426'、1427'、1428'、1429'、1430'、1431'、1432'、1433'、1434'、1435'、1436'、1437'、1438'、1439'、1440'、1441'、1442'、1443'、1444'、1445'、1446'、1447'、1448'、1449'、1450'、1451'、1452'、1453'、1454'、1455'、1456'、1457'、1458'、1459'、1460'、1461'、1462'、1463'、1464'、1465'、1466'、1467'、1468'、1469'、1470'、1471'、1472'、1473'、1474'、1475'、1476'、1477'、1478'、1479'、1480'、1481'、1482'、1483'、1484'、1485'、1486'、1487'、1488'、1489'、1490'、1491'、1492'、1493'、1494'、1495'、1496'、1497'、1498'、1499'、1500'、1501'、1502'、1503'、1504'、1505'、1506'、1507'、1508'、1509'、1510'、1511'、1512'、1513'、1514'、1515'、1516'、1517'、1518'、1519'、1520'、1521'、1522'、1523'、1524'、1525'、1526'、1527'、1528'、1529'、1530'、1531'、1532'、1533'、1534'、1535'、1536'、1537'、1538'、1539'、1540'、1541'、1542'、1543'、1544'、1545'、1546'、1547'、1548'、1549'、1550'、1551'、1552'、1553'、1554'、1555'、1556'、1557'、1558'、1559'、1560'、1561'、1562'、1563'、1564'、1565'、1566'、1567'、1568'、1569'、1570'、1571'、1572'、1573'、1574'、1575'、1576'、1577'、1578'、1579'、1580'、1581'、1582'、1583'、1584'、1585'、1586'、1587'、1588'、1589'、1590'、1591'、1592'、1593'、1594'、1595'、1596'、1597'、1598'、1599'、1600'、1601'、1602'、1603'、1604'、1605'、1606'、1607'、1608'、1609'、1610'、1611'、1612'、1613'、1614'、1615'、1616'、1617'、1618'、1619'、1620'、1621'、1622'、1623'、1624'、1625'、1626'、1627'、1628'、1629'、1630'、1631'、1632'、1633'、1634'、1635'、1636'、1637'、1638'、1639'、1640'、1641'、1642'、1643'、1644'、1645'、1646'、1647'、1648'、1649'、1650'、1651'、1652'、1653'、1654'、1655'、1656'、1657'、1658'、1659'、1660'、1661'、1662'、1663'、1664'、1665'、1666'、1667'、1668'、1669'、1670'、1671'、1672'、1673'、1674'、1675'、1676'、1677'、1678'、1679'、1680'、1681'、1682'、1683'、1684'、1685'、1686'、1687'、1688'、1689'、1690'、1691'、1692'、1693'、1694'、1695'、1696'、1697'、1698'、1699'、1700'、1701'、1702'、1703'、1704'、1705'、1706'、1707'、1708'、1709'、1710'、1711'、1712'、1713'、1714'、1715'、1716'、1717'、1718'、1719'、1720'、1721'、1722'、1723'、1724'、1725'、1726'、1727'、1728'、1729'、1730'、1731'、1732'、1733'、1734'、1735'、1736'、1737'、1738'、1739'、1740'、1741'、1742'、1743'、1744'、1745'、1746'、1747'、1748'、1749'、1750'、1751'、1752'、1753'、1754'、1755'、1756'、1757'、1758'、1759'、1760'、1761'、1762'、1763'、1764'、1765'、1766'、1767'、1768'、1769'、1770'、1771'、1772'、1773'、1774'、1775'、1776'、1777'、1778'、1779'、1780'、1781'、1782'、1783'、1784'、1785'、1786'、1787'、1788'、1789'、1790'、1791'、1792'、1793'、1794'、1795'、1796'、1797'、1798'、1799'、1800'、1801'、1802'、1803'、1804'、1805'、1806'、1807'、1808'、1809'、1810'、1811'、1812'、1813'、1814'、1815'、1816'、1817'、1818'、1819'、1820'、1821'、1822'、1823'、1824'、1825'、1826'、1827'、1828'、1829'、1830'、1831'、1832'、1833'、1834'、1835'、1836'、1837'、1838'、1839'、1840'、1841'、1842'、1843'、1844'、1845'、1846'、1847'、1848'、1849'、1850'、1851'、1852'、1853'、1854'、1855'、1856'、1857'、1858'、1859'、1860'、1861'、1862'、1863'、1864'、1865'、1866'、1867'、1868'、1869'、1870'、1871'、1872'、1873'、1874'、1875'、1876'、1877'、1878'、1879'、1880'、1881'、1882'、1883'、1884'、1885'、1886'、1887'、1888'、1889'、1890'、1891'、1892'、1893'、1894'、1895'、1896'、1897'、1898'、1899'、1900'、1901'、1902'、1903'、1904'、1905'、1906'、1907'、1908'、1909'、1910'、1911'、1912'、1913'、1914'、1915'、1916'、1917'、1918'、1919'、1920'、1921'、1922'、1923'、1924'、1925'、1926'、1927'、19

を観察したりする姿も見られるようになった（図 15）。

中には、平泳ぎの手のかき方やばた足のポイントについて等を体育科特有の表現方法である動作で伝え合う様子も見られた（図 16）。

さらに、けがで見学している児童も、友達に取り組む様子や対話活動から学んだ気づきを、具体的にワークシートに記述することができるようになった（図 17）。

教師がファシリテーターとして児童の言葉や気づきを「引き出す」ことで、児童が考えや気づきを共有し合うようになり、友達の言葉を自分の知識として取り入れて、自信をもって友達

に伝えることができていたと考えられる。表現力を高める上で「教師が教える」よりも有効的な手段であったと考えられる。ファシリテーションで児童同士の意見を引き出したりつなげたりすることで、表現力の育成に有効であった。

本研究では、ファシリテーターとしての教師の声かけを体育科の学習に取り入れることで、児童の表現力を育むことを目的としているが、今後は児童がファシリテーターとなって学習を進めていけるように指導工夫を図っていきたいと考える。



図 15 水中からパディを観察する児童



図 16 ポイントを動作で伝え合う児童

見学の理由	ずつつ頭痛 ふくつ腹痛 たいちようふりよう体調不良	けが（こっせつ）
その他（ ）		
今日の学習	できるだけ長く進めるようになろう。	
学習メモ		
① 手は、はなすよりも、くっつける。 ② 水は、うしろにかく、（M）息をなく ③ すぐバタ足をしない、こめがけ、あしをそろす。 ④ はた足は... ひざを曲げない、つま先をのばす ⑤ 親指と親指がぶつかるくらい。		
自己評価 （◎ ○ △）	○ 学習の様子をしっかりと見る事ができた。（◎） ○ 学習のポイントが分かった。（◎） ○ 友達の頑張りをを見つけることができた。（◎）	
振り返り	先生の話のポイントや、友達のポイントが見つけれただけでよかったです。	

図 17 見学児童のワークシート

V 成果と課題

1 成果

- (1) ファシリテーションを取り入れて指導することで、児童の気づきや意見が出やすくなったり、考えを共有したりして自己の課題解決の方法を思考し、判断したり、それを伝え合う力を高めることができた。
- (2) ファシリテーションを取り入れた対話活動により、技のポイントや気づきを児童が具体的に捉えられるようになり、振り返りの記述の質を向上させることができた。
- (3) ファシリテーションを取り入れた対話活動により表現力が高まったことから、児童同士の学び合いが具体的な視点を持って行われるようになる等、協働的に学習する能力の高まりがみられた。

2 課題

- (1) 児童の考えや気づきを見やすくつなぐFGのスキルを高める必要がある。
- (2) 教師のファシリテーション力だけでなく、児童のファシリテーション力を育む指導の工夫を図っていく。

〈参考文献〉

- 沖縄県教育委員会 2022 『沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』 沖縄県教育委員会
- 沖縄県教育委員会 2022 『令和4年度版「問い」が生まれる授業サポートガイド』 沖縄県教育委員会
- 菊池省三 2022 『白熱する教室 第29号 季刊(2022年夏号)』 中村堂
- 高田彬成・森良一・細越淳二 2022 『確かな学習状況を見取る 小学校体育の評価規準づくり』 大修館書店
- 吉岡正憲 2022 『小学校体育授業における発問の現状(体育科教育5月号)』 大修館書店
- 今関豊一 2021 『体育科目標論—体育科でこれからの社会で必要とされる知識、能力について—』 日本体育大学大学院教育学研究科紀要第4巻第2号
- 沖縄県教育委員会 2021 『小学校体育科指導の手引き』 沖縄県教育委員会
- 工藤亘 2021 『令和の日本型学校教育に求められる教師のファシリテーション能力についての一考察』 玉川大学教師教育リサーチセンター年報第11号
- 齋藤直人 2021 『対話でつなぐ体育授業51』 東洋館出版社
- 斉藤雄次 2021 『学校教育におけるファシリテーションの可能性』 名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究科第35号
- 白旗和也 2021 『体育の学習』 光文書院
- 鈴木直樹 2021 『ICT×体育・保健体育 GIGAスクールに対応した授業スタンダード』 明治図書
- 中央教育審議会答申 2021 『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』 中央教育審議会
- 吉岡正憲 2021 『体育授業における発問の意義と課題に関する研究序説』 『国士館人文科学論集』第2号
- 国立教育政策研究所 2020 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』 東洋館出版社
- 鈴木直樹 2020 『体育授業のICT活用アイデア56』 明治図書
- 日本経済団体連合会 2020 『Society 5.0に向けて求められる初等中等教育改革 第二次提言』 日本経済団体連合会
- 鈴木直樹 2019 『体育の「主体的・対話的で深い学び」を支えるICTの利活用』 創文企画
- 玉城一志 2019 『動きを高め合い、自己の成長を実感できる児童の育成』 沖縄県立総合教育センター第66集研究集録
- 文部科学省 2018 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編』 文部科学省
- 文部科学省 2018 『小学校学習指導要領(平成29年告示)』 文部科学省
- 宮良善起 2018 『思考力・判断力を育む器械運動指導の試み』 沖縄県立総合教育センター第64集研究集録
- 谷益美 2017 『マンガでやさしくわかるファシリテーション』 日本能率協会マネジメントセンター
- 武田正則 2014 『学習ファシリテーション論』 学事出版
- 武田正則 2011 『教育現場の協働性を高めるファシリテーション実践学』 学事出版
- 梅澤秋久 2016 『体育における「学び合い」の理論と実践』 大修館書店
- 石川一喜・小貫仁 2015 『教育ファシリテーターになろう』 弘文堂
- 文部科学省 2014 『学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引(三訂版)』 株式会社アイフィス
- 不破央 2012 『水泳の指導法がわかる本』 小学館
- 土屋武志 2011 『解釈型歴史学習のすすめ』 梓出版社
- 望月明人 2011 『体づくり運動がもっと楽しくなる 小学校コーディネーション運動』 明治図書